

NEOBIKE

User's manual



Tacx

部品リスト

A フレーム

- A1 ボトルケージ
- A2 エアグリル
- A3 ディスク
- A4 前脚
- A5 調整式脚(左・右)
- A6 クランク
- A7 後脚
- A8 ホイール(左・右)

B コントロールパネル

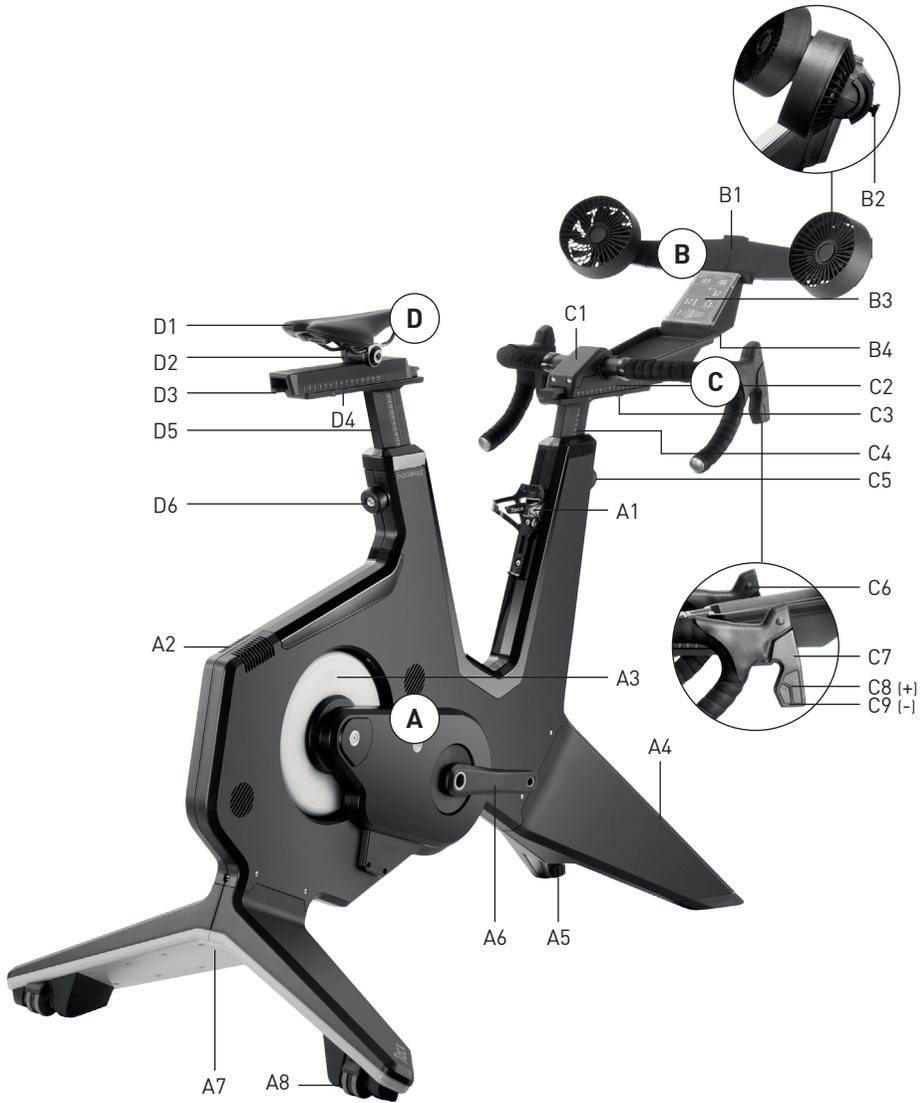
- B1 エアファン
- B2 エアファン ノブ(左・右)
- B3 ディスプレイ
- B4 USB 充電器

C ハンドルバー

- C1 ハンドルバー カバー
- C2 ハンドルバー レール
- C3 ハンドルバー ディスタンス ボルト
- C4 ステム
- C5 ステム調整ボルト
- C6 コントロールボタン
- C7 ブレーキ
- C8 シフター(大)
- C9 シフター(小)

D サドル

- D1 サドル
- D2 サドル アングルボルト
- D3 サドル レール
- D4 サドル ディスタンス ボルト
- D5 シート ポスト
- D6 シート ポスト調整ボルト



目次

1. はじめに	316
1a. 重要な注意事項	316
1b. 寸法	318
1c. 間隔	319
1d. サイクリング姿勢に関するガイドライン	320
1e. ジオメトリの設定	322
2. 組立て	324
3. クイックスタートガイド	327
3a. 製品規制	327
3b. ディスプレイ	328
3c. 設定	330
3d. トレーニングの開始	331
3e. 特別な機能	334
4. メンテナンス	336
5. トラブルシューティング	337
6. 保証条件	338

1.はじめに

Smart バイクの使用を開始する前に、本マニュアルをよくお読みください。本マニュアルをお読みになられても質問がある場合には、Tact サポートにお問い合わせください(Tact サポートカードを参照してください)。お問い合わせになられる際には、製品名(本マニュアルの表紙)と品番(本マニュアルの裏側)を調べておいてください。

1a.重要な注意事項

操作

1. 所有者は、本トレーナーを使用するすべてのユーザーが警告や注意事項すべてを十分理解するようにする責任があります。
2. トレーナーが正常に作動しない場合、トレーナーを使用しないでください。
3. 本トレーナーは、屋内で使用するように設計されています。他の環境でトレーナーが使用された場合、Tactx は責任を負わないものとします。本トレーナーは、商業的目的、レンタル、施設的环境では使用しないでください。
4. 非常に過酷なトレーニングを行っても、ユニットは加熱しないことがテストで明らかとなっています。ただし、継続的に集中トレーニングを行った場合、ブレーキ筐体が高温に加熱する可能性があります。トレーニング後は必ず、ブレーキに触れる前にブレーキを30分冷ましてください。
5. トレーナーは、硬く水平な場所に置いてください。風穴を塞ぐような場所には、トレーナーを置かないでください。
6. 使用していない時に、トレーナーの上に物を置いておかないでください。
7. 電源コードは加熱面には近づけないでください。
8. エアゾール製品が使用されている場所、または酸素の供給を行っている場所ではトレーナーは使用しないでください。ユーザーは、室内が新鮮な空気で十分に満たされており、トレーニングのための安全かつ健全な環境となっていないことを確認する必要があります。
9. 発汗による湿気や結露は電気回路に悪影響を与えます。トレーナーを湿度の高い環境で使用しないでください。不適切な使用やメンテナンスは、保証適用外になる可能性があります。
10. 製品を水や湿気にさらさないでください。バックフレームのエアグリルから水や水分がしたたらないよう十分注意してください。
11. トレーナーの開口部に物を挿入しないでください。
12. トレーナーは、48 Vdc 90 ワットの外部電源アダプターを使って稼働させます。トレーナーに付属の外部電源コードのみを使用してください。他の種類、または他社の外部電源アダプターを使用すると、危険な状況が生じ、負傷、装置の損傷、火災が発生する場合があります。
13. トレーナーは外部電源アダプターを使わずに使用することも可能ですが、下り坂アシスト機能は作動しません。ユーザーがこぎ続ける限り、トレーナーは動作を続けます。

使用

14. トレーナーを使用する際は、必ず本マニュアルの説明に従ってください。
15. エクササイズプログラムを開始する前に、医師の診察を受けてください。35歳以上の方、および以前に健康問題があった方の場合、医師の診察は特に重要です。
16. 本機器は、身体的、感覚的、精神的機能が低下している方（お子様を含む）、経験や知識のない方による使用は意図されていません。ただし、責任者により本機器の安全な使用方法について監督または指示を受けている場合は除きます。
17. 14歳以下のお子様やペットがトレーナーの上に上ったり、周りに近づいたりしないようにしてください。お子様が機器で遊ぶことがないように十分に監督してください。
18. 過度のエクササイズにより、重篤な負傷や死亡という結果になる場合があります。エクササイズ中に気を失ったり、痛みを感じたりした場合、すぐに使用をやめてクールダウンし、症状が改善しない場合には医師の診察を受けてください。
19. トレーナーは、体重が120kg (265ポンド) を超える方は使用することはできません。
20. 室温は10°C ~ 30°Cになるようにし、トレーニングに適した環境とする必要があります。相対湿度が85%を超えないようにしてください。
21. トレーナーを使用する際は、適切なエクササイズウェアを着用してください。男性の方でも女性の方でも、運動サポートウェアの着用をお勧めします。必ずサイクリング用シューズを着用してください。はだし、ストッキングやサンダルのみでの着用ではトレーナーを使用しないでください。
22. トレーニング終了後は、必ず電源を切ってプラグを抜いてください。
23. ウェア、指、髪の毛などが、回転ディスク、エアファン、クランク、ボトム ブラケットに巻き込まれないようにしてください。

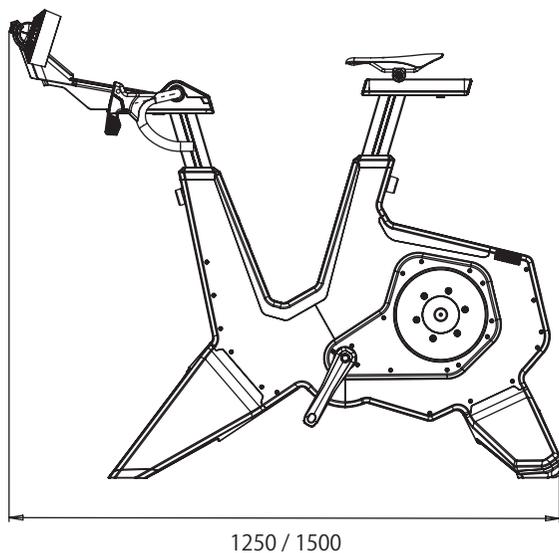
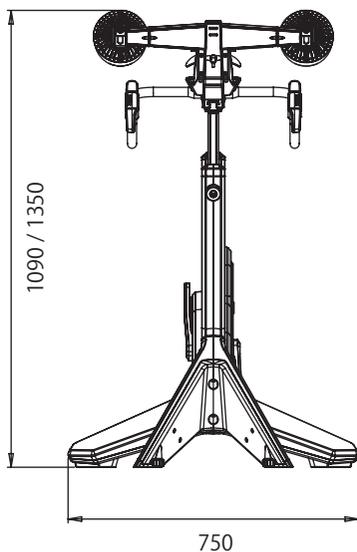
メンテナンス

24. お手入れには乾いた布のみを使用してください。洗剤や研磨剤を使用しないでください。
25. 使用後は、必ずトレーナーの左側にあるアルミディスクを湿らせた布で拭き、完全に乾かしてください。
26. トレーナーを定期的に点検し、すべての部品をしっかり締めてください。
27. 危険: 使用後は、すぐに電源コードを抜いてください。本マニュアルで説明しているトレーナーのお手入れ、メンテナンス、調整手順などは、電源コードを抜いた後に行ってください。正規のサービス担当者により指示された場合を除き、筐体は取り外さないでください。本マニュアルに記載された手順以外の修理は、正規のサービス担当者以外で行うことはできません。

1.はじめに

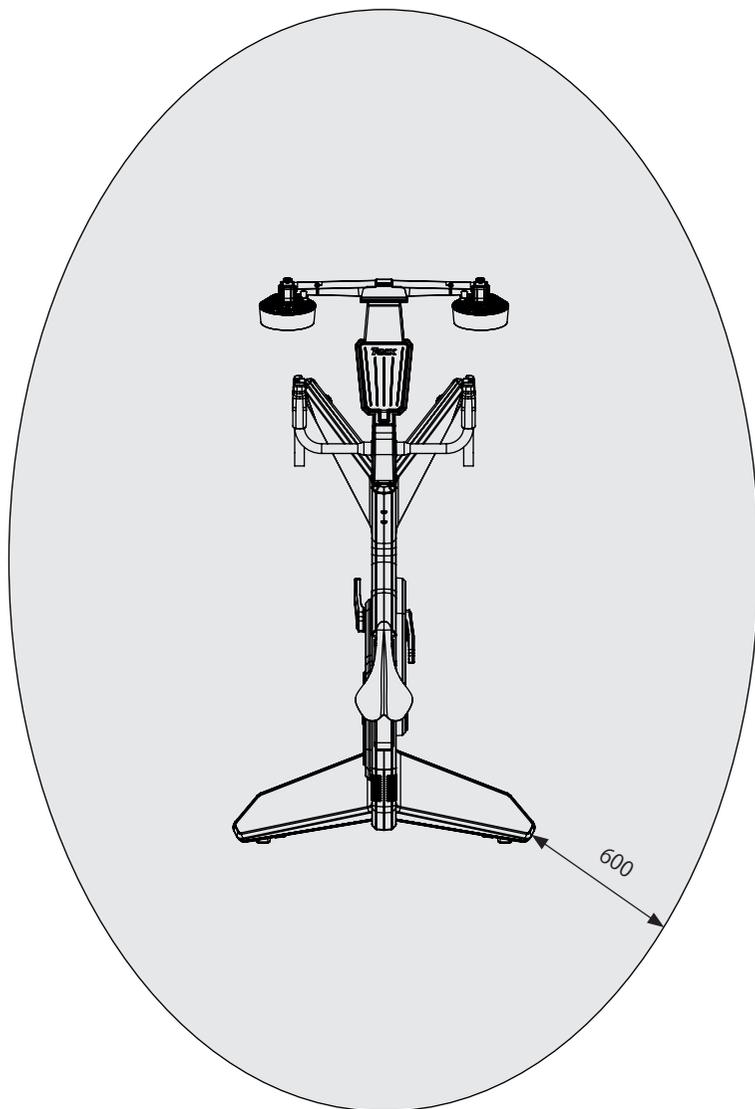
1b.寸法

NEO Bike Smart の最大高さ(地面からファン上部まで)は、1.35 m (4.43フィート)です。NEO Bike Smart の最大長さ(ファンを含む)は、1.50 m (4.92フィート)で、幅は0,75 m (2.5フィート)です。下の画像を参照してください。寸法の単位はミリメートルです。



1c.間隔

トレーナーは、両側および後ろ側から600 mm (23.6インチ) 以上離して置いてください。下の画像を参照してください。寸法の単位はミリメートルです。

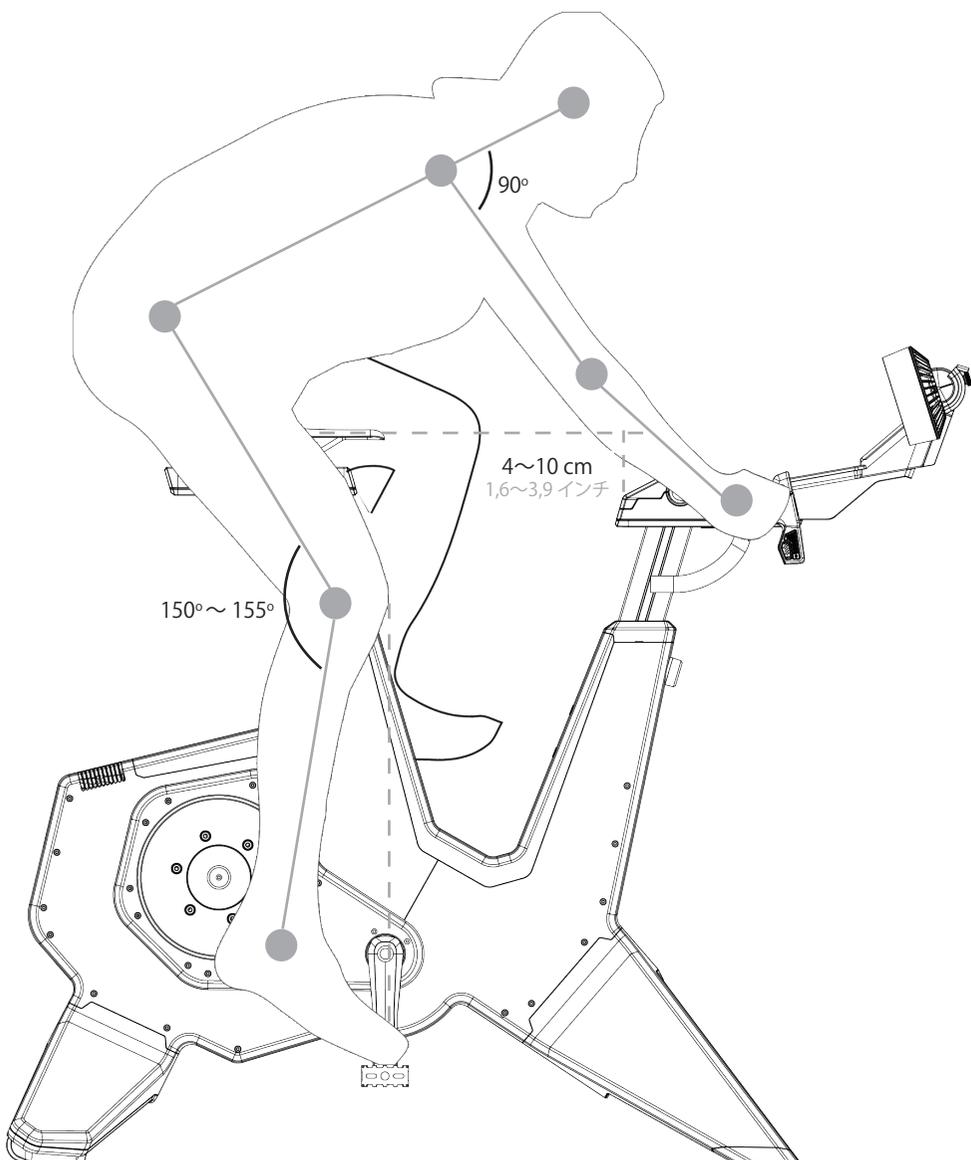


JP

1.はじめに

1d.サイクリング姿勢に関するガイドライン

以下は、NEO バイク使用時の正しいサイクリング姿勢に関するガイドラインです。正しいサイクリング姿勢は個人的なもので、人によって異なる点に留意してください。



シートの高さ

シューズを履いてバイクに乗り、足を完全に下げる際、ひざは150～155度になっている必要があります。ひざがこの角度になっていない場合は、以下のように高さを調整します：

1. サドルを持って、シート ポスト調整ボルト (D6) でシート ポストをゆるめます。
2. 上記の状態になるように、サドルの高さを調整します。
3. ボルト D6でシート ポストを締めます。

シートの最大高さは26 cm (10.2インチ) で、この上限を超えた高さにはできません。

シートの水平位置

クランク アームを水平 (床と平行) にしてバイクに乗った場合、ひざはちょうどペダルの中央の位置になっている必要があります。ひざがこの位置になっていない場合は、以下のように水平位置を調整します：

1. サドル ディスタンス ボルト (D4) でサドル レールをゆるめます。
2. 上記の状態になるように、水平位置を調整します。
3. ボルト D4でサドル レールを締めます。

シートの最大距離は15 cm (5,9インチ) で、この上限を超えた距離にはできません。

サドルを大きく移動させる必要がある場合、サドルを上げ下げして釣り合いを取る必要がある場合があります。サドルを前方に移動させると、有効なサドルの高さは低くなり、逆にサドルを後方に移動させると高さは高くなります。サドルを 1 cm 以上動かす場合は、サドルの高さを再確認してください。

ハンドルバーの高さ

高さが適切かどうかによって快適性が異なりますので、背中にかかる負担が最小限になる位置を選んでください。通常、高さはシートと同じか、わずかにシートより低くなっており、最大高さは 10 cm (3.9インチ) です。

以下のようにハンドルバーの高さを調整します：

1. ハンドルバーを持って、ステム調整ボルト (C5) でステムをゆるめます。
2. 上記の状態になるように、高さを調整します。
3. ボルト C5でステムを締めます。

ステアの最大高さは26 cm (10.2インチ) で、この上限を超えた高さにはできません。

ハンドルバーの水平位置

バイクに乗り、ハンドルバーの上に手をかけ、ペダルを床に水平にした場合、ひじはひざの内側に入っており、ペダルの中央の位置になっている必要があります。または、背中中の角度でも確認することができます。背中中の角度は床に対して45度、上腕と胴の角度は90度になっている必要があります。この角度になっていない場合は、以下のようにハンドルバーの水平位置を調整します：

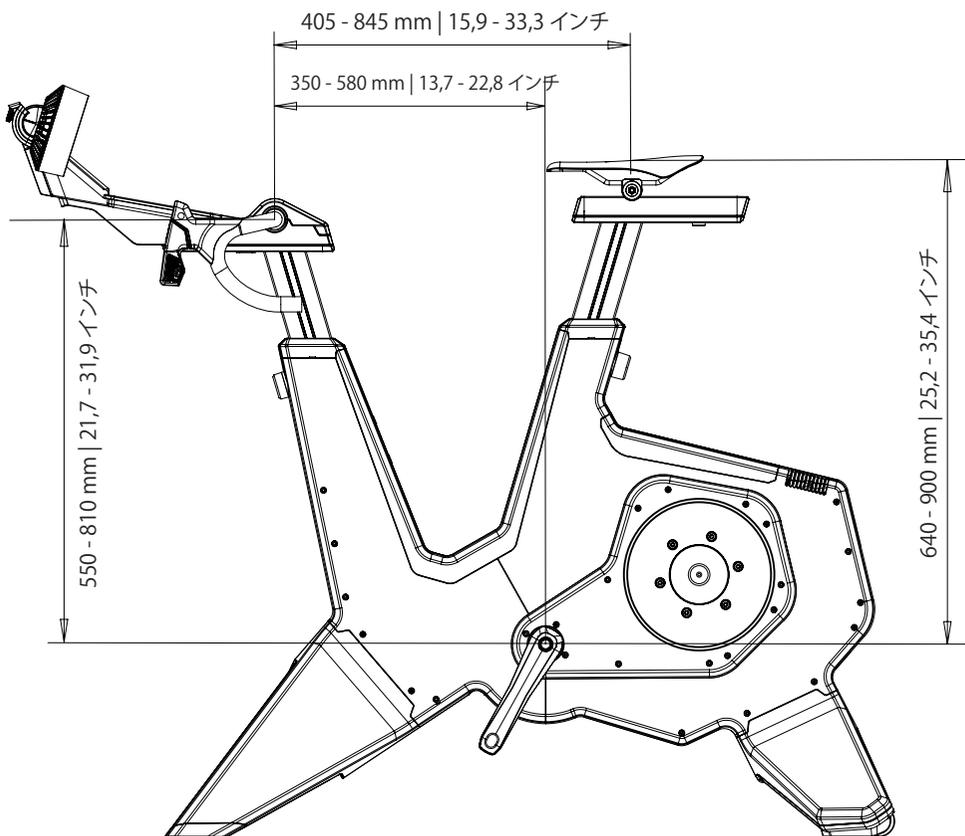
1. ハンドルバー ディスタンス ボルト (C3) でハンドルバーをゆるめます。
2. 上記の状態になるように、高さを調整します。
3. ボルト C3でハンドルバーを締めます。

ステアの最大距離は15 cm (5,9インチ) で、この上限を超えた距離にはできません。

1.はじめに

1e.ジオメトリの設定

バイクのサドルおよびハンドルバーの高さおよび水平位置の最大/最小寸法は、以下の画像に示されている通りです。ロードバイクのジオメトリに合わせて設定してください。



JP

2.組立て

NEO Bike には以下の部品が同梱されています：

- | | |
|-------------|---|
| 1. T8001.50 | フレーム |
| 2. T8003 | 前脚 (A4) |
| 3. T8002 | 後脚 (A7) |
| 4. T8011.50 | サドル、レール取り付け用 (D1-D3) |
| 5. T8010.50 | ハンドルバー付きコントロールパネル (B3、B4、C1-C3 & C6-C9) |
| 6. T8010.51 | エアファン (B1 & B2) |
| 7. T8015.07 | ラバー マット |
| 8. T8010.16 | タブレット マウント |
| 9. T8017 | ボトルケージのギフト ボックス (A1) |
| 10. T8015 | アセンブリー ボックス |

トレーナーの組み立ては、指示に従って二人以上で行ってください。158ページの部品リストおよび組立てマニュアルを参照してください。まず梱包をすべて解き、パッケージにすべての部品が含まれているかどうかを確認します。



A. 脚の取り付けおよびトレーナーの配置

- バイクを床に置き、前後に傾けて脚を取り付けます。
トレーナーは重いので (50 kg)、トレーナーを持ち上げる際は十分注意してください。
- 2つのボルト (T8015.02 と T8015.03) を使って前脚 (A4) を取り付け、8 mm のアーレン キーで固定します。
- 2つのボルト (T8015.01) を使って後脚 (A7) を取り付け、8 mm のアーレン キーで固定します。
- トレーナーは、硬く水平な場所に置いてください。トレーナーは非常に重いので (50 kg)、トレーナーを持ち上げる際は十分注意してください。
- 調整式脚 (A5) で、前脚を同じ高さにしてトレーナーを安定させます。
 - まず、片方を調整します。左のボタンを回すと脚が短くなり、右を回すと長くなります。
 - もう一方も同様に調整します。
 - バイクが床に完全に安定するまで、この操作を続けます。

B. ペダルの取り付け

- 必要なペダル インサートを選択します。左と右のインサートは異なっています (L=左、R=右)
- インサートをグリースで潤滑します。
- 適切なインサートを軸に取り付け、ペダルを取り付けます。
- 正しい方向に回転させ、ペダルを固定します。

C. ボトルケージの取り付け

- 4 mm のアーレン キーでケージを取り付けます。



このアイコンが表示されている場合、手順は2人以上で行う必要があります。

D. サドルの取り付け

11. キャップ T8010.05 をサドルレール (D3) に配置します。
12. サドルレール (D3) 上でサドル (D1) をスライドさせます。
13. ボルト D6 (高さ) と D4 (距離)、6 mm と 8 mm のアーレン キーを使って、必要な高さおよび距離になるようにサドルを固定します。または、ハンドル T8015.15 および T8015.16 を使ってボルトを交換します。最大高さは 26 cm で、最大距離は 15 mm です。この上限を超えないようにしてください。164 ページで正しい姿勢を確認してください。
14. ボルト D2 および 5 mm のアーレン キーを使って、サドルの角度を調整します。

E. コントロールパネルおよびハンドルバーの取り付け

15. キャップ T8010.05 をハンドルバー レール (C2) に配置します。
16. ハンドルバー レール (C2) 上にコントロールパネルおよびハンドルバーを取り付けます。ケーブルが固定されないようにしてください。
17. 6 mm のアーレン キーでパネルを固定します。
18. ボルト C3 および C5、6 mm と 8 mm のアーレン キーを使って、ハンドルバーの高さと距離を調整します。または、ハンドル T18015.15 および T18015.16 を使ってボルトを交換します。最大高さは 26 cm で、最大距離は 15 mm です。この上限を超えないようにしてください。164 ページで正しい姿勢を確認してください。

ハンドルの使用: シートポストおよびサドルの高さおよび水平位置を調整する際、6 mm および 8 mm のアーレン キーの代わりにハンドル T8015.15 と T8015.16 を使用することができます。高さや位置を定期的に調整する必要がある場合、例えば様々なユーザーが NEO Bike を使用する場合などは、特に便利です。ハンドルを使用するには、ボルトを交換します。C5 と D6 を T8015.16 に、C3 と D4 を T8015.15 に交換します。

19. 必要であれば、ハンドルバーの角度を調整します:
 - a. Torx 20 でハンドルバー カバー (C1) を外します。
 - b. 4つのねじを外します。
 - c. 希望の角度に合わせ、4つのねじでハンドルバーを固定します。
 - d. ハンドルバー カバー (C1) を取り付け、Torx 20 で固定します。

G. エアファンおよびタブレット マウントの取り付け

エアファンにタブレット マウントが含まれています。

20. エアファン (B1) またはタブレット マウント (T8010.16) をパネルに取り付けます。
21. Torx 20 でファンを固定します。
22. 必要であれば、ノブ B2 でエアファンの角度を調整することができます。
23. ディスプレイおよびファンの電源ケーブルを取り付けます。

オプション: メーカーの指示に従って自分のサドル、ハンドルバー テープ、ボトルケージを取り付けて、バイクをカスタマイズします。Tacx サポート ウェブサイトの指示を確認してください。

H. ラバー マットの設置

24. 電話の表面にラバー マットを取り付けます。

J. タブレットの設置

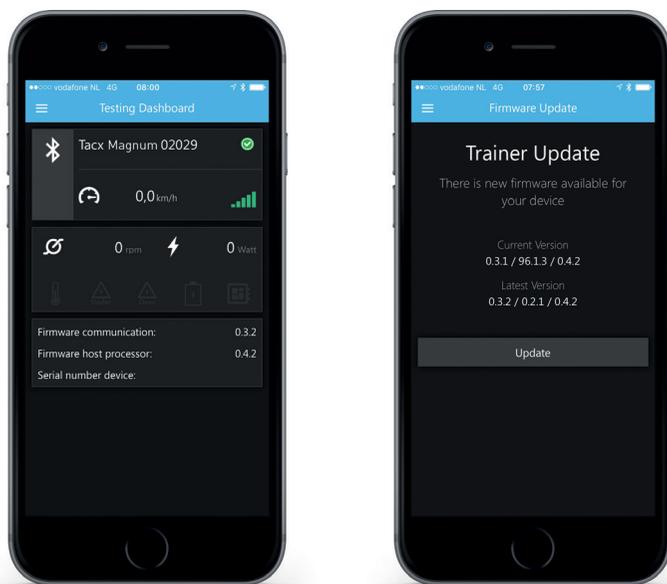
25. 必要であればタブレットを置き、ラバー ストリップで締めます。

26. タブレットの電源ケーブルをパネルの下にある USB ポートに差し込みます。

タブレット ホルダーへのデバイスの取り付けが適切でないことにより生じた損傷に関して、Tacx は責任を負いません。

K. 主電源への接続

トレーニングの際に電源を使用するかしないかを選択できます。接続しない場合、トレーナーが発電を行い、ペダルをこぎ続ける限りは電力が供給されます。NEO Bike Smart にも電源接続がついているため、同様の機能、同様の仕様となっています (Descent Simulation 以外)。



重要 App Store または Google Play から無料の Tacx Utility アプリをダウンロードし、使用に先立って NEO Bike Smart に接続してください。このアプリは、トレーナーの更新、ギア比の変更、接続の確認、問題の分析 (必要な場合) などに使用します。

3.クイックスタートガイド

3a.製品規制

NEO Bike Smart は、屋内バイクとして知られる製品を次のレベルにまで引き上げた画期的な製品です。前例のない唯一無二の投入型体験を生み出すために開発されました。路面再現機能、ギア再現機能、バーチャルギア、エアファン、動的慣性機能、下り坂機能などの独自の機能を組み合わせることにより、屋内で非常にリアルなサイクリング体験を楽しむことができます。カスタマイズ可能なバイク部品を使えば、実際に路上で、またはトライアスロンでサイクリングをしているような感覚が味わえます。完全な静音性、一体型ディスプレイ、プログラム可能なコントロールボタン、スマホ・タブレット用ホルダーなどの様々な機能を備えており、お気に入りのアプリケーションを使って簡単にトレーニングすることができます。NEO Bike Smart は、屋内サイクリング体験を提供するプラグ アンド プレイのバイクです。

仕様

- 制御方式:自動または手動
- ソフトウェア:Tacx ソフトウェア & サードパーティ社製ソフトウェア
- 通信:ANT+ FE-C & Bluetooth オープン プロトコル
- 最大 25% のリアルな傾斜再現
- 最大抵抗2200 ワット
- 最大トルク:85 Nm
- 最大制動力:250 N
- 精度:誤差 1 %
- 完全な静音性

使用目的

トレーナー ユーザーの最大許容重量は、120 kg (265ポンド)です。

使用キュー:

次の使用キューの意味は、以下の通りです:

1. サイクリング パワー インジケータ

床にあるこのインジケータは、サイクリング パワーが高くなると、青から赤に色が変化します。

2. ディスプレイ インジケータ

様々なデータおよびユーザー情報を表示するディスプレイです。

172 ページの 3b を参照してください。

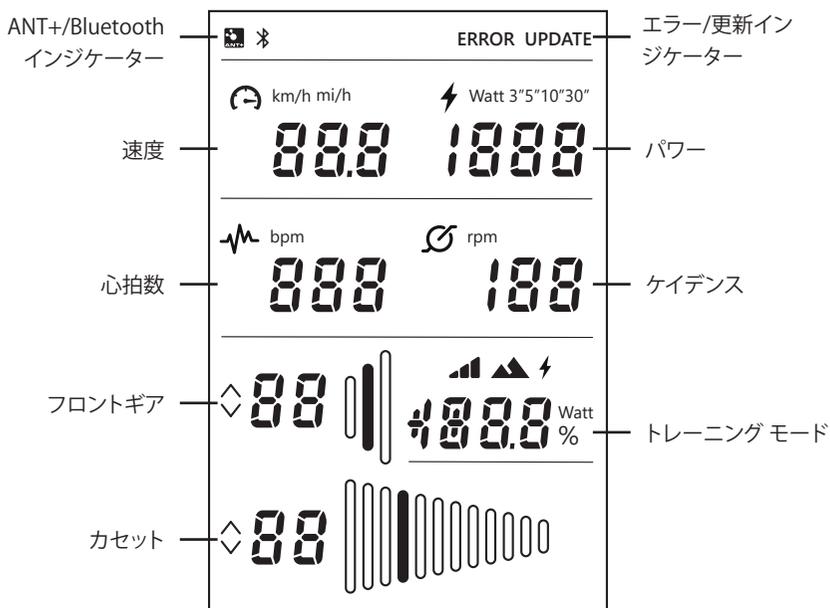
JP

3.クイックスタートガイド

Smart バイクの使用を開始する前に、本マニュアルをよくお読みください。本マニュアルをお読みになられても質問がある場合には、Tact サポートにお問い合わせください(Tact サポートカードを参照してください)。お問い合わせになられる際には、製品名(本マニュアルの表紙)と品番(本マニュアルの裏側)を調べておいてください。

3b.ディスプレイ

NEO Bike でサイクリングする際、ディスプレイは自動でオンになります。ソフトウェアと接続している場合と、スタンドアロンとしてトレーニングしている場合とでは、ディスプレイは異なります。ディスプレイがオンにならない場合、Tact サポートにお問い合わせください。



これらのアイコンが表示された場合、次の状態を意味しています。

ANT+/Bluetooth インジケーター

ANT+ インジケーター:ANT+ を介して別のデバイスに接続している場合に表示されます。

Bluetooth インジケーター:Bluetooth を介して別のデバイスに接続している場合に表示されます。

エラー/更新インジケーター

エラー インジケーター:トレーナーにエラーが発生した場合に表示されます。他のエラーに関する詳細は、トレーナーを Tacx Utility アプリに接続してご覧ください。問題が解決しない場合には、Tacx サポートにお問い合わせください。

更新インジケーター:Tacx Utility アプリでトレーナー ファームウェアの更新を選択した場合に表示されます。この場合、トレーナーを使用することはできません。

Tacx Utility アプリを使って、トレーナーで利用できる更新がないかどうか定期的に確認するようお勧めします。更新を確認して、トレーナーを更新するには、次のステップに従ってください。

1. Tacx Utility アプリを開きます。
2. [Devices (デバイス)] を選択して NEO Bike (Bluetooth を使用) に接続します。
3. [Update (更新)] を選択し、更新を確認します。
この確認には時間がかかる場合があります。新しいバージョンが利用できるかどうかアプリに表示されます。新しいファームウェアでトレーナーを更新する場合は、ステップ 4 に進んでください。
4. [Update (更新)] を押して、トレーナーを更新します。
ディスプレイに更新インジケーターが表示されます。続行する前に、プロセスを完全に完了させてください。これには数分かかる場合があります。
5. アプリを閉じ、トレーニングを続行してください。
アイコンが消えない場合、または更新が失敗した場合は、Tacx サポートにご連絡ください。

速度

現在のサイクリング速度が、km/h または mph で表示されます。コントロールボタンおよびシフターを使って単位を切り替えることができます。174 ページを参照してください。

JP

パワー

現在のパワーがワットで表示されます。コントロールボタンおよびシフターを使って異なるモードに設定することができます。174 ページを参照してください。

- ライブ パワー
- 直前の 3 秒 (3") の平均
- 直前の 5 秒 (5") の平均
- 直前の 10 秒 (10") の平均
- 直前の 30 秒 (30") の平均

ケイデンス

ケイデンスが rpm で表示されます。

3.クイックスタートガイド

フロントギア

フロントギアの現在の設定です。左のシフターを押すと、フロントギアを切り替えることができます。ギアを上げるにはシフター大 (C8) を、下げるにはシフター小 (C9) を使用します。

カセット

カセット (リヤギア) の現在の設定です。右のシフターを押すと、リヤギアを調整することができます。ギアを上げるにはシフター大 (C8) を、下げるにはシフター小 (C9) を使用します。

トレーニングモード

スタンドアロンモードでサイクリングしている場合 (ソフトウェアの使用なし)、このフィールドには現在行っているトレーニングのモードが表示されます。3C の説明に従って、希望のモードに設定することができます。3 つのモードがあります。

- ▲ 1. シミュレーションモード
固定傾斜によるトレーニングです。コントロールボタン (C6) を押して設定することができます。バーチャルシフター (C8 と C9) が有効になります。
- ⚡ 2. パワー (erg) モード
固定パワー値によるトレーニングです。コントロールボタン (C6) で設定することができます。
- ▲ 3. 負荷モード
事前定義した負荷レベル (10) でトレーニングします。コントロールボタン (C6) でレベルを切り替えることができます。

3c.設定

コントロールボタン (C6) とシフター (C8 と C9) を使って、NEO Bike の設定 (単位、平均パワー設定、トレーニングモード) を変更することができます。

次の手順に従って行います。

1. コントロールボタン (C6) を 3 秒間押します。ディスプレイのモードが点滅します。
2. 右側のシフター小 (C9) を押し、変更したい設定を選択します。
3. 右側のシフター大 (C8) を押して、選択した設定を変更します。
4. 右のシフター (C9) を押して、設定を決定します。
5. トレーニングを開始します。
6. ハンドルバー ボタンを使って、傾斜/パワー/負荷ポジションの設定を変更します。

3.クイックスタートガイド

3d.トレーニングの開始

NEO Bike Smart は様々な方法でコントロールすることができます。

1. ソフトウェアおよびアプリを使用
 - a. Tacx アプリ
 - a. Tacx Training アプリ (iOS/Android)
 - b. Tacx Desktop アプリ (Mac/Windows)
 - b. サードパーティ社製ソフトウェア
2. スタンドアロン

このモードでは、トレーナーをソフトウェアやアプリと接続することはできません。コントロールボタン (C6) で負荷をコントロールすることができます。様々なモードを使用することができます。

 - a. シミュレーション モード: 傾斜に基づく
バーチャル シフター (C8 と C9) が有効になります。
 - b. パワー (erg) モード: パワー (ワット) に基づく
 - c. 負荷モード: 事前定義した 10 の負荷ポジションに基づく

ソフトウェアを使ったトレーニング

NEO Bike Smart は、Tacx Training アプリ、Tacx Desktop アプリ、Zwift や TrainerRoad などのサードパーティ社製ソフトウェアを使って、自動でコントロールすることができます。

ソフトウェアを使ってサイクリングを開始するには、次のステップに従ってください。

1. 必要であれば、Smart バイクを壁のコンセントに接続します。
注記: 電源スイッチはありません。
2. 使用したいアプリおよび/またはソフトウェアをダウンロードしてインストールします。
3. 使用するデバイスおよびアプリに従って、ANT+ または Bluetooth を有効にします。
4. トレーナーをデバイスに接続します。デバイスが接続されると、ディスプレイの ANT+ または Bluetooth インジケータが表示されます。

Tacx ソフトウェア

Tacx ソフトウェアは、スマートフォンおよびタブレット向けの Tacx Training アプリ、Mac および Windows コンピューター向けの Tacx Desktop アプリ、ダウンロード、ワークアウトの作成、アクティビティの分析、友達とのフォローなどを行うクラウド ウェブサイトで構成されています。



Tacx Training アプリ (TTA)



TTA を使ってサイクリングしたい場合は、次のステップに従ってください。

1. アプリを開きます。
2. アカウントを作成するか、すでに登録済みの場合*はログインします。
3. Bluetooth でトレーナーを接続します。
 - a. Bluetooth を有効にします。
 - b. アプリの [Set-up Connection (接続のセットアップ)] を選択します。
 - c. NEO Smart バイクを検索します。
 - d. トレーナーを選択して接続します。
 - e. [Next (次へ)] を押します。
4. [Workouts (ワークアウト)] を開き、トレーニングを選択して、再生ボタンを押します。
5. トレーニングを一次停止したい場合は、サイクリングを停止します。
6. トレーニングを終了したい場合は、停止を押します。

トレーニングは、自動でアクティビティとして保存され、友だちにシェアすることができます (設定している場合)。



Tacx Desktop アプリ (TDA)



TDA を使ってサイクリングしたい場合は、次のステップに従ってください。

1. アプリを開きます。
2. アカウントを作成するか、すでに登録済みの場合*はログインします。
3. Bluetooth でトレーナーを接続します。
 - a. Bluetooth を有効にします。
 - b. アプリの [Devices (デバイス)] を選択します。
 - c. NEO Smart バイクを検索します。
 - d. トレーナーを選択して接続します。
 - e. 必要であれば、2 台目のデバイスを接続します。
4. [Workouts (ワークアウト)] を開き、トレーニングを選択して、再生ボタンを押します。
5. トレーニングを一次停止したい場合は、サイクリングを停止します。
6. トレーニングを終了したい場合は、Escape (ESC) を押します。

トレーニングは、自動でアクティビティとして保存され、友だちにシェアすることができます (設定している場合)。

*フィルム、GPS ライド、構造化ワークアウトを使用されたい場合は、Premium を購読してください。

その他のソフトウェア

サードパーティ社製ソフトウェアを使ってサイクリングしたい場合は、次のステップに従ってください。

1. アプリを開きます。
2. アプリの指示に従います。
3. ANT+ または Bluetooth でトレーナーを接続します。
4. 必要であれば、2 台目のデバイスを接続します。
5. 使用したいトレーニングを選択し、トレーニングを開始します。

スタンドアロンでのトレーニング

デバイスを使用せずにトレーニングを行う場合は、次のステップに従ってください。

1. 事前定義したモードおよび設定を設定します。
単位、平均パワー設定、トレーニング モードは変更することができます。
174 ページを参照してください。
2. トレーニングを開始します。
3. ハンドルバー ボタンを使って、傾斜/パワー/負荷ポジションの設定を変更します。

3.クイックスタートガイド

3e.特別な機能

1.特別トレーニングモード

NEO Bike では、等速性および等張性トレーニングやペダルストローク分析を行ったり、路面再現機能やギア再現機能を使用したりすることができます。

等速性/等張性トレーニング

均一なペダルストロークでトレーニングを行いたい場合、これらのモードは便利です。等張性モードでは、固定パワーレベルでサイクリングを行い、特にストロークの死点における脚力を鍛えます。等速性モードでは、ペダルにかかる力の大きさに関わらず、固定速度でトレーニングを行います。これらのトレーニングは、[Tacx Utility アプリ](#)を使って行うことができます：

1. Tacx Utility アプリを開きます
2. [Devices (デバイス)] を選択して NEO Bike に接続します
3. [Testing (テスト)] ダッシュボードを開き、等張性または等速性モードを有効にします
4. 等張性：負荷を 0 ~ 100% で選択します。トレーナーは、一定のパワーで負荷を維持します。
5. 等速性：速度上限を 16 ~ 30 mph で設定します。設定速度を超過すると負荷が高くなるため、一定のケイデンスを保つことができます。

ペダルストローク分析

NEO Bike では、左足および右足のパワー出力を別々に測定し、ペダルストローク分析を行うことができます。この結果は、Tacx Desktop アプリの Tacx Films に表示されます。176 ページのステップに従って Tacx Desktop アプリを使ってサイクリングを行い、ワークアウトの Tacx Film を選択します。左足および右足のパワー出力は、右側のグラフに表示されます。このアプリで使用できるデモフィルムは数が少ないため、もっとフィルムを使用したい場合は Premium を購読する必要があります。

路面再現機能 & ギア再現機能

石畳の道を走行する時の路面やギアシフトの感触を体験できます。路面再現機能とギア再現機能は、様々な路面の振動だけでなく、各ギアでのバーチャルチェーンの動作をシミュレーションします。この没入型機能は、Tacx Films や Zwift と併用できます。

2.エアファン

インタラクティブなエアファンのエアフローは、パワー（ワット）、心拍数、速度でコントロールすることができます。または、固定スピード（低、中、高）に設定することができます。

1. [Tacx Utility アプリ](#)を開きます。
2. [Device settings (デバイス設定)] を開きます。
3. お好みに合わせて [Fan setting (ファン設定)] を変更します。
4. アプリを閉じ、トレーニングを続行してください。

3.USB 充電器

ディスプレイの下に2つのUSB充電器(B4)があり、タブレット、スマートフォン、その他のデバイスを充電することができます。USBポートにケーブルを接続します。主電源にバイクが接続されていない場合、デバイスの充電が行われるのはサイクリングしている間のみです。10秒後にデバイス充電が通知されます。

4.バーチャルシフター

バーチャルシフター(C8とC9)は、ソフトウェアを使ったトレーニング中、またはスタンドアロンでシミュレーションモードのトレーニング中にギアを変える際に使用します。パワー(erg)または負荷モードでは、これらのシフターは無効になります。

ギアを上げるにはシフター大(C8)を、下げるにはシフター小(C9)を使用します。フロントギアを変えるには左のシフターを、カセットのギアを変えるには右のシフターを使用します。

Tacx Utility アプリでギア比を変更することができます。

1. Tacx Utility アプリを開きます。
2. NEO Bike (Bluetooth を使用) に接続します。
3. メインメニューで [Device settings (デバイス設定)] を開き、お好みに合わせて [Virtual gears (バーチャルギア)] の設定を変更します。
4. アプリを閉じ、トレーニングを続行してください。

ディスプレイのトレーニングモードを変更する際にもシフターを使用することができます。

174 ページを参照してください。

5.ブレーキ

シフターには、(バーチャル)ブレーキ(C7)機能があります。屋外でのサイクリング時と同様に、NEO Bike は、ペダルをこぐのを短時間停止しても「回転」を続けます。下り坂では、回転は長く続きます。ブレーキを押すと、ゆっくりと停止します。

6.主電源を使用しないトレーニング

電源を使用してトレーニングするか、使用せずにトレーニングするかを選択することができます。主電源を使用すると、実走感はよりリアルになります。主電源を使用しない場合、下り坂のシミュレーションを行うことはできません。また USB 充電器も機能しません。路面再現機能やタブレットとの通信などの他のすべての機能は使用することができ、サイクリング動作により電力が供給されます。

7.運搬用ホイール

NEO Bike (A8) には後ろ側に小さなホイールがついており、簡単に移動させることができます。トレーナーを移動させたら、使用に先立って、168 ページの指示に従って、調整式脚 (A5) でバイクを水平にしてください。

4.メンテナンス

Smart バイクのメンテナンス方法

- Tacx Utility アプリ (App store または Google Play から無料で入手可能) を使って、利用可能なファームウェアの更新がないかどうか定期的に確認してください。
- 定期的に点検し、ボルトがしっかり締まっていることを確認してください。
- 使用時には、電源アダプターおよびケーブルに損傷がないかどうか確認してください。アダプターまたはケーブルに損傷がある場合、Tacx サポートに連絡し、交換用アダプターまたはケーブルを注文してください。Tacx 純正電源アダプターおよびケーブルのみを使用してください。
- バイクがしっかりと立っており、床で安定しているかどうかを定期的に確認してください。必要であれば、調整式脚 (A4) を使って水平にしてください。
- ハンドルバー テープの品質を定期的に確認し、テープのメーカーの指示に従って、必要であれば交換してください。

Smart バイクのクリーニング方法

- サドル、ハンドルバー、ペダルをぬらした布で拭きます (中性洗剤を使用)。
危険: 濡れている時には、トレーナーは操作しないでください。
- 使用後は、必ずトレーナーの左側にあるアルミディスクを湿らせた布で拭き、完全に乾かしてください。
- フレームから指紋を拭き取る場合には、Glassex などの脱脂剤を使用してください。

危険! 本マニュアルで説明しているトレーナーのお手入れ、メンテナンスなどを行う際は、必ず電源コードを抜いてください。

本マニュアルで指示されている場合、または正規のサービス担当者により指示された場合を除き、部品は取り外さないでください。本マニュアルに記載された手順以外の修理は、正規のサービス担当者以外を行うことはできません。

重要 デバイスの安全性レベルが保証されるのは、損傷、摩耗、接続の緩みなどの定期的な点検が行われている場合のみです。欠陥または損傷がある場合、直ちに Tacx サポート部門までご連絡ください。資格あるサービス担当者が点検・修理を行うまでは、デバイスは決して使用しないでください。

注記: トレーナーの部品のお手入れを行う際は、研磨洗浄剤は使用しないでください。

5.トラブルシューティング

ほとんどの問題は、次のステップに従って解決することができます。該当する症状を探し、記載されているステップに従ってください。さらにサポートが必要な場合は、Tacx サポートにご連絡ください。

A. ディスプレイに何も表示されない

ペダリングを開始すると、ディスプレイに表示されるようになります。

B. 「下り坂シミュレーション」が機能しない

電源アダプターが正しく接続されているかどうか確認してください。

C. 心拍ベルトがソフトウェアに接続しない

電源アダプターを外し、ソフトウェアで Bluetooth HR ベルトを接続します。接続されたらすぐに、電源アダプターを再び差し込みます。

D. インタラクティブ エアファンが機能しない

2つのジャック プラグがしっかり差し込まれているかどうか確認してください。

ワークアウト中はファンをコントロールすることはできません。コントロールする際は、Tacx Utility アプリを使ってワークアウト開始前に行ってください。

JP

Tacx サポート連絡先

メール: support@tacx.com

ホームページ: <https://support.tacx.com>

電話: +31 70 700 7836

住所 (ご来店用ではありません): Tacx Support, Rijksweg 52, 2241BW WASSENAAR, The Netherlands

6.保証条件

Tacx の製品を購入いただきありがとうございます。Tacx は最良の品質の製品をお客様に提供するべく努力しております。残念ながら、お客様が当社の製品にご不満を抱かれた場合は、速やかに当社にご連絡ください。Tacx の一般的な保証規定の項目に抵触しない範囲に置いて、製品には下記の保証条件が適用されます。Tacx の製品の保証期間は、新規購入より二年間とします。二年間とは購入日から計算するか、もしくは製品が速やかに納品されなかった場合は製品がお客様の手に届いた日時から計算します。保証は最初に商品を購入されたお客様にのみ適用されます。また、この保証はお客様がオリジナルの商品の購入証明を提示された場合にのみ適用されます。もし何かご質問がある場合、もしくは問題の解決を希望される場合は、まず Tacx サポートのホームページ (<https://support.tacx.com>) を参照してください。多くの問題はハードウェアに起因する問題ではなく、ソフトウェアに起因する問題です。製品を返品する前に、かならず原因の解析を行ってください。

保証

1. 保証期間内に、製品の製造過程もしくは材料に起因する故障が発生した場合は、Tacxはこの故障を無償で修理するか、もしくは故障部品の交換をいたします。修理もしくは交換が不可能な場合、もしくは Tacx が想定することが不可能な原因による故障の場合、Tacxは返品された商品と同等の市場価格を持って、返金をさせていただきます。
2. 保証期間内にパーツの交換が行われた場合、この交換されたパーツの保証期間は、当初の保証期間が引き続き適用されます。よって、当初の保証期間は、返品・交換等によって延長・更新されることはありません。
3. 製品に問題が発生した場合、出来る限り速やかに、問題の発見より2ヶ月以内に Tacx、またはトレーナーを購入した代理店に書面で告知してください。
4. 下記の事由により問題が発生した場合は、保証の請求外であり、保証が適用されないものとします：a) 修理、メンテナンス作業が Tacx もしくは Tacx 正規代理店で行われていない場合； b) 製品の本来の目的ではない使用目的に使用されるなど、不適切な製品の使用がなされた場合； c) Tacx 純正部品以外の部品が使用されている場合； d) Tacx の許可を得ない改造が製品に施された場合； e) 日常使用における摩滅、減損もしくは、適切なメンテナンスが行われていない場合； f) 外的要因（湿気の侵入、結露など）による故障の場合。
5. 製品出荷後の運送、輸送に起因する故障は保証の適用外です。

保証手続き

- 故障原因の解析の為に、Tacx サポートのホームページ (support.tacx.com) もしくは Tacx 正規代理店に連絡をお願いいたします(故障原因の解析を行ってください)。
- 解析の結果、故障していることが確認された場合、購入証明書のコピーと、必要事項を記入したサービスフォームを Tacx 正規代理店に送ってください。必要事項がすべて記入されたサービスフォームと、製品購入証明書が同封されない場合、保証は適用されません。
- 故障に保証が適用されるか否かの判断は、オランダTacx B.V.の判断に寄るものとします。

法的責任

- Tacx B.V. は、事前の通知なく返送された製品の改造、改善、同等もしくは類似の製品との交換を行いません。しかしながら、Tacx は、新しい条件に適合するため、もしくは性能の改善のために商品を改造する義務を負わないものとします。
- 非常に多彩な設定項目があり、設定上の問題が存在するため、Tacx B.V. はソフトウェアが、推奨される条件にコンピューターが合致していたとしても、すべてのシステムで動作するとは保証しておりません。
- Tacx はその製品の使用中に生じた、製品に起因する、もしくは製品に関連して発生したいかなる損害に関しましていかなる責任も負いません。

仕様

ワイヤレス プロトコル: Bluetooth 4.0 & ANT+ | 周波数範囲: 2400-2483,5 MHz | RF 出力パワー: 0 dBm (代表値) | 温度範囲 (動作) -20 °C ~ +55 °C | 送信範囲: 10 m | 電源: 同梱の電源アダプターおよび電源コードのみを使用してください。

FCC および IC 宣言

お使いのデバイスには、低出力トランスミッターが含まれます。デバイスが送信を行う際、無線周波 (RF) 信号が送信されます。

適合性宣言の表示

本デバイスは、FCC 規則パート 15、およびカナダ政府産業省のライセンス適用免除 RSS 標準に適合しています。本デバイスの動作は次の 2 つの条件に基づきます。

- (1) 本デバイスが有害な電波障害を引き起こさないこと。
- (2) 本デバイスが、誤動作の原因となる電波障害を含む、受信されたすべての電波障害に対して正常に動作すること。

FR | Déclaration de conformité

Le présent appareil est conforme aux CNR d'Industrie Canada applicables aux appareils radio exempts de licence. L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes:

- (1) l'appareil ne doit pas produire de brouillage, et
- (2) l'utilisateur de l'appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d'en compromettre le fonctionnement.

カナダ産業省の規制により、本無線トランスミッターは、ある種類のアンテナ、およびカナダ産業省により承認を受けたトランスミッター最大利得 (最小利得) によってのみ動作します。他のユーザーに対する電波障害を最小限にとどめるには、実効輻射電力 (e.i.r.p.) が通信に必要な電力以上とならないように、アンテナの種類およびその利得を選択する必要があります。

警告 (パート 15.21)

法律を順守する責任のある関係者による明示的な承認なしに、本装置の変更または改造を行った場合、本装置を使用するユーザーの権限は無効となる可能性があります。承認なしに改造・連結を行った場合、トランスミッターが損傷する危険があり、FCC 規則に違反する場合があります。

CE 適合宣言書

Tacx bv は、NEO Bike Smart (T8000) が欧州議会指令、指令 RED 2014/53/EC および RoHS 2011/65/EU の関連するその他の条項に適合していることをここに宣言します。この宣言書のコピーは Tacx のホームページ (www.tacx.com) に掲載されています。

ROHS

本製品には、このマークがついています。これは、使用済みの電気・電子製品を一般家庭ゴミと一緒にしてはならないことを意味しています。これらの製品は、別個に回収してもらう必要があります。